



06.3.29

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 美咲会	代表者	熊木 佐知男	法人・事業所の特徴	法人：富士見市、三芳町に拠点をもち、特養・シヨート・デイ・グループホーム・小規模多機能・地域包括(2事業)・居宅介護支援事業所・オレンジサポートセンターの9つの介護保険事業を展開している。 事業所：外出する機会を多く持ち、ご利用者が住み慣れた地域に出て、楽しんでいただけのように支援しています。
事業所名	小規模多機能ホーム みずほ苑	管理者	松田 拓央		

出席者	市町村職員	1人	地域住民・地域団体	人	利用者	1人	利用者家族	人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	人	事業所職員	2人	その他	人	合計	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	モニタリング時だけでなく、利用中の会話などの中からニーズを探っていく。 一人暮らしの方や必要に応じて地域の民生委員等のインフォーマルサービスの連携を行い、地域での暮らしの支援をしていく。	泊まり時に一対一で会話ができるため、ご家族の事が詳しく聞けた。入浴支援時に腰が痛くて屈めないとの話から浴槽の掃除の訪問支援に繋がった。 自宅に帰れなくなってしまったことがある方に徘徊ステッカーの活用やゴミ捨てが困難な方へのふれあい収集の活用、近所の方の見守りなどで地域での暮らしを支援している。	言葉にして伝えあうということができています。 日常の支援活動に追われているのは理解できるが、改善計画の進行状況の把握が難しいと思われまます。	初期の関わりが大切であるため、利用にあたって本人や家族が抱えている不安を聞き取るようにしていく(聞き取りシートを作成し1~3か月の期間活用していく)。 初回サービス利用時に本人の自宅での生活環境を理解するため「以前の暮らし方」を最低10個は確認していき、日常生活の支援に繋げていく。(フエイスシートへ記載)
B. 事業所のしつらえ・環境	ご利用者や地域の方が気持ちよくご利用できるよう、玄関や駐車場まわりの清掃も定期的に行っていききます。	月2回、利用者と一緒に玄関の草取りや落ち葉履きを実施した。地域の方からお花をもらい花壇に植えた。	更に良くするために色々なこととにチャレンジされると良いと思います。	利用者へしつらえ・環境に対してアンケートを取り、意見等をもとに環境改善をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	自主サロンなどの交流の再開をしていくとともに、困りごとや相談がある場合は地域包括支援センターと連携していききます。回覧板や運営推進会議の情報をもとに、地域の行事やイベントに参加していき地域と交流を図っていききます。	自主サロンや子ども食堂の参加者と関わりを持つことが出来た。	もっと具体的に計画をあげなければ評価がしにくいのではないかと思えます。 町会の行うイベント等に積極的に参加して頂いてます。	自主サロン開催時に毎回参加者から相談ごとがないか確認していき。相談内容は日誌に記録し、必要に応じて包括に繋げていく。 地域の方や子どもとの交流のため、駄菓子販売を計画し実施していく。(上半期に販売準備、下半期に販売実施)ご利用者に地域の方との交流をもつ機会として、販

	<p>・職員とともに地域に出向き、外出や散歩の機会を継続できるようにします。</p> <p>・訪問時に近所の方からの困りごとや相談に関わる際のフロアチャートを作成していきます。</p>	<p>地域の野菜販売に利用者で行った。温かい時期に散歩に連れ出された。</p> <p>利用者の家族の相談を包括に繋がた。</p> <p>利用者の同じアパートの住民の方をふじみ苑の包括に繋がた。</p> <p>利用者宅訪問時に近所の方から相談事があるとのことで、包括に繋がた。</p>	<p>・出向いたからこそ分かったこと支援につながったことなど具体的な例があると良いと思います。</p>	<p>売等に参加して頂く。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>		<p>地域で心配な方がいる場合は情報提供をもとに運営推進会議の場で対応について検討していきます。</p>	<p>・地域の方も入った会議で取り上げるべき事例とその前の段階で専門職で話し合うべきこともあると思えます。検討にあげざるべき事例の例など一度教えて頂きたいです。</p> <p>・個人情報との兼ね合いで難しいと思われるのか、そういう事例はなかったです。</p>	<p>・利用者の住んでいる地域の民生委員をリサーチする。また民生委員と交流を図っていく。互いに何か困ったときに協力体制が取れるようにしていく。</p> <p>・登録利用者の3割程度（8名程度）、民生委員と顔つなぎを目標としていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>		<p>総合訓練に入れるも相談事例がなかった。民生委員の方にも会議に参加して頂くことより具体的な情報提供があるのかと思われる。</p>	<p>・知ってもらうことで、どのような結果がほしいかまでを書かれると良いと思います。例えば知ってもらうことで更なる改善点の気づきにつながるなど。</p> <p>・毎年参加して役に立っています。</p>	<p>運営推進会議を町会と連携する場としていくため、地域の内情を把握している民生委員等にも会議に参加してもらい意見を頂いていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>運営推進会議のメンバーが事業所の防災訓練に参加してもらったことで、事業所の取り組みを知ってもらえます。</p>	<p>総合訓練に参加してもらい、利用者の避難場面を見てもらおう。車いすの方の避難誘導など具体的な方法が不明瞭と意見頂く。また地域の方が避難して来た想定への対応なども具体的に決まっていいために検討が必要。</p>		<p>停電や断水などの本番想定訓練を実施していく。また必要物品の確認や準備等を行い、災害対策の強化を図る。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月25日(14:00~15:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 松田・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画
新規者の利用状況等の記録について、初回利用時から1か月間程度は記録に記載し情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用初日は特に細かく記録している。時折、利用状況について口頭で情報共有していることが記録に記載されていないことがあるが、概ね、利用の様子を細かく記録し、朝礼など口頭でも情報を共有し合っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	1			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	2			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	6	2			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	3			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・1日の通い利用の様子を細かく記録し、朝礼など口頭でも情報を共有し合っている。(初日の利用は特に)・新規者は、不安を抱えながら利用することもあるため、積極的に声をかけ、心地よい環境だと少しでも感じてもらうよう関わっている。・サービス担当者会議に同席した職員から、本人や家族のニーズを聞き取った内容を共有し利用に繋げている。・改善事項がある時は、その場で職員同士相談しながら対応している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用状況について口頭で情報共有していることが記録に記載されていないことがある。・家族や介護者の方が必要としている支援は聞き取ることが出来ても、認知症などにより本人から聞き取ることが出来ないことがある。・利用にあたって本人や家族が抱えている不安を聞き取れていないこともある。・認知症の影響により、通い利用へ繋がらない時もある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・認知症により通いなどのサービス利用が困難な場合は、訪問の回数を重ねる等、継続的なアプローチを行い、なじみの関係を築いていく。・初期の関わりが大切であるため、利用にあたって本人や家族が抱えている不安を聞き取るようにしていく(聞き取りシートを作成し1~3か月の期間活用していく)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月25日(14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 松田・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	2人	人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時だけでなく、利用中の会話などの中からニーズを探っていく。 ・運営会議でケース担当を中心に、その時の本人の状態やニーズにサービスが適切か見直す。
前回の改善計画に対する取組み結果	その場の思い付きの希望に関しては対応できたが、生活のニーズに関しては探れていない時もある。ケース担当を中心に、その時の本人の状態やニーズにサービスが適切か見直している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	5			8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6			8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7			8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	4			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・小多機の特徴を活かしたご利用者の希望に沿ったサービス提供ができる。 ・朝礼や会議で実践した内容や対策案を話し合い、翌日からその方の目標に沿った対応を行っている。 ・新型コロナウイルスが緩和してきたことで、行事などに参加したいと希望が増え、参加して頂くよう調整している。 ・通いで他者との交流やアクティブに過ごすことなど、目的に沿った対応が出来る。 ・ケアプランを確認し、本人が希望している内容を把握している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の希望が変わるため、「～したい」が不明な箇所があり、それに伴い関りができていない時がある。 ・「～したい」という目標が変わってしまうことや不明確な方もいるため、目標が把握できていないこともある。 ・時折、家族のレスパイトを目的としたサービスを優先してしまうこともある。 ・ケース担当がその都度でなく会議時に意見を言うだけになっている時もある。 ・ケアプランの目標と本人のニーズとのずれが生じていることがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケース担当が本人の生活に対する目標を把握し支援していくために、年2回(4月と10月)、生活に対する希望や意向を本人や家族から確認し、個別支援計画やケアプランに反映させていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月25日(14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 松田・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	人	8人

前回の改善計画
フェイスシートの項目で聞き取れていない部分があり、不明な部分はモニタリング、訪問時に、ケース担当中心にフェイスシートに追記していく。日々の会話の中で、新しい情報があれば記録に残していき、フェイスシートに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新しい情報は記録に記入しているが、フェイスシートに記載できていない時もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8			8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8				8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	2			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8				8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	1			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・食事や入浴支援の危機管理を行い、異変に気付いた時は、その都度職員同士で共有し対応している。・食事の提供に関して、好き嫌いを把握して提供している。・本人のペースに合わせて食事の提供をしている。・本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有し対応している。・排泄の支援では、その方に合わせた排泄の間隔で支援している。・フェイスシートにある情報を確認し、ご利用者に変化があった時は、職員同士で情報共有し対応している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・会話の中で得た情報をフェイスシートへ追記が出来ていないときがある。・関わりが少ない方やコミュニケーションがとりづらい方の場合、生活環境の把握が難しい。・認知症により感情の起伏がある方に対し、うまく利用につなげることが出来ないこともある。・ご自身でコミュニケーションが取れない方や一人暮らしで昔のことを忘れた方など、生活歴が確認できない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	初回サービス利用時に本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」を最低10個は確認していき、日常生活の支援に繋げていく。(フェイスシートへ記載)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月26日(15:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画	一人暮らしの方や必要に応じて地域の民生委員等のインフォーマルサービスと連携を行い、地域での暮らしの支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	徘徊ステッカーやふれあい収集、近所の方の見守りなどで地域での暮らしを支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7	1			8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	3			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	3			8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	2			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ゴミ出しが難しい方に、地域の民生委員や近所の方に相談し協力をしてもらっている。・フェイスシートなどを確認し、事前に情報を取り入れることができている。・訪問等により、今までと違ってきている現状に気づくことができ、解決できるよう、情報を探し提案し繋げることで解決している。・ゴミ出しや食事等で必要な地域資源が活用できている。・日常会話の中で利用しない日の過ごし方を確認している。・歯科受診を必要としている方へ訪問歯科の提案、調整ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・積極的に民生委員の情報を得ていないため、相談できなかった。・事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握できていない方もいる。・ご利用者が自らどこかに向いて参加するような催しはなかなか参加が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地域での暮らしの継続ができるように、必要がある場合にに応じて地域の方や民生委員等と連携を行い支援していく。・新規利用者の場合は、お互いに何か困ったときに協力体制が取れるようにその方の地域の民生委員と顔つなぎを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月26日(15:00~17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画
町内会の資源の把握、活用して多機能性ある支援が出来るようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
近所の方にも協力して頂き、見守りなどの支援をしている。また、洗濯や配食が必要な方には希望を確認し支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	3			8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	1			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	1			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	1			8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・その日の本人の状態に合わせて訪問回数を増やして支援している。
・ご本人やご家族の事情に合わせ、普段より早くお迎えしたり、宿泊を入れたりできている。家族の介護負担軽減も行えている。
・通い利用が難しい方には訪問回数を多くして対応している。
・熱中症予防として通い利用を増やすなど対応した。
・急な泊りの希望にも対応している。
・居宅管理指導にて薬剤師の介入、訪問歯科、布団の乾燥、ふれあい収集、配食サービス、民生委員の安否確認、近所の方にゴミ出し協力など、必要な資源の活用が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・町内会の地域資源の把握ができていない。
・町内会の回覧板以外の情報収集の方法を知らない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・地域資源であるボランティアを活用していくため、定期的にボランティアセンターから情報を得ていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日(15:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	1人	人	人	8人

前回の改善計画	保育園との交流の機会や地域の活動で利用者が参加できるものがあるか情報収集をしていく。また、参加時間短縮等を検討し、地域向けの活動開催や参加に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	保育園との交流はオンラインで実施。せきざわ横丁やパワーアップ体操の自主サロンや子ども食堂を通し、地域との交流を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7	1			8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	8				8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	7	1			8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	8				8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・せきざわ横丁やパワーアップ体操の自主サロンや子ども食堂を通し、地域との交流を図っている。・消防団の活動に参加している。・福祉用具や訪問看護などと担当者会議を開催している。・ケアマネが地域包括支援センター主催の地域ケア会議に出席している。・市内一斉清掃に参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・町内会のお祭りは気温が高かったため、熱中症の心配もあり参加を控えた。・学童や保育園児との対面の交流が感染症対策の観点からなかなか実施できない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・月2回(第1、第3日曜日)インターネットで地域のイベント情報を確認し、参加に繋げていく。・地域の方や子どもとの交流のために、駄菓子販売を計画し実施していく。ご利用者に地域の方との交流をもつ機会として、販売等に参加して頂く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日(15:00~17:00)

7. 運営

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	人	人	8人

前回の改善計画	防災協定や子ども食堂など地域からの意見を反映し、拠点施設として出来ることについて定期的に職員同士で話し合えるように意見交換の場を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方から意見を頂き、子ども食堂(開放型)やパワーアップ体操の開催について準備を進めた。総合訓練では、地域の方にも参加して頂いた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	4	4			8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	1			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	1			8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8				8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用満足度調査のアンケートを実施し、利用者、家族の意見からサービスの向上に繋げている。 ・朝の朝礼や職員全体会議で互いに意見を言い、よりよいサービスに繋げている。意見や苦情などの情報共有もしている。 ・せきざわ横丁は通常の時間に戻り、パワーアップ体操も再開し地域の方との交流が行え始めている。 ・地域の方から定期的にお花を頂き、花壇に植えている。 ・地域の小さな事でも聞き流すことなく、しっかり耳を傾けている。地域から声が上がった時は早急に対応し共有できている。地域の方とあいさつをしっかり行い、コミュニケーション取れている。 ・町会と防災協定を結んでいる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
せきざわ横丁やパワーアップ体操等の参加者から地域の拠点として取り組んでほしいことをアンケートで募り、地域との交流の場を増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日(15:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	2人	人	人	8人

前回の改善計画	定期的な会議の中で危険予知トレーニングを実施し、リスクマネジメントの意識強化に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護事故に関する研修時に危険予知トレーニングを実施した。毎月ヒヤリハットの集計を実施し会議の中で対策案を検討した。事故が発生した時は、職員でカンファレンスを開き、再発防止策を立案した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	1			8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	2			8
③	地域連絡会に参加していますか	7	1			8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	2			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・毎回法令研修は実施している。・外部研修に参加した職員から会議内で内容を確認することが出来ている。・運営推進会議にて、多方面から意見が聞けている。またサービスに繋げている。・新入職員への危険予知トレーニングの実施。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・経験が浅い職員に対して事故防止やリスクマネジメントの教育が不十分。・資格取得やスキルアップのための研修への参加が不十分。・危険予知トレーニングの実施が少ない。・ヒヤリハットの件数が少ない。些細な内容もあげていく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・介護に知識・技術を向上するため、介護に関する内容の勉強会を職員持ち回り制で実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日(15:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松田・渡辺・精木・並木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	人	人	8人

前回の改善計画	成年後見制度の研修や勉強会を実施し、必要に応じて適正に制度を活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	社協の出前講座で成年後見制度の研修を行い学んでいるが、活用までに至らない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8				8
②	虐待は行われていない	8				8
③	プライバシーが守られている	8				8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4			8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8				8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待、プライバシーの保護は研修を行うことで実際に適切な対処が出来る。 ・毎月会議にて不適切ケアについて振り返り、日々のケアについて確認している。 ・個人情報シートは鍵付きの引き出しで管理・保管している。 ・生活の中で価値観を尊重し、入浴や排せつ時等は特に配慮してプライバシーの保持をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度の研修を行っているが、現在対象の方がいない。 ・ご利用者へトイレ誘導する際に「トイレに行きましょう」と声かけが他人へ聞こえていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日常生活自立支援事業の内容について研修を行い、知識を深めていく。また事業の支援が必要な利用者がいれば検討し支援に繋げていく。	